



臨時総会の結果と 事務局住所移転等の完了 お知らせ

当会事務局は以前港区にありましたが、8月6日中野区に移転しました。臨時総会で理事の定員を10人から12人、総会での表決方法についても電子票決が承認されました。

注：特定非営利活動法人を以下 NPO 法人と略す、または省略する。



SFPE・J ニュース
(SFPE 日本支部
の活動 第26号)

日本防火技術者協会 SFPE 日本支部 平成23年度(2011年度) 通常総会開催予告

日時：平成23年1月28日(金)
13:30~14:30

場所：東京理科大学 森戸記念館

議題内容

- 1) 平成22年度(2010年度)事業報告
- 2) 平成23年度(2011年度)活動計画
- 3) 会計報告、予算計画
- 4) 監査報告
- 5) 理事、監事の選任
- 6) その他

引き続きシンポジウム開催予定

「第8回 SFPE 性能基準と火災安全設計法に関する国際会議 ケーススタディ ナイトクラブの防火設計」報告

第8回 SFPE 性能基準と火災安全設計法に関する国際会議報告

2010年6月16日から18日の3日間にわたり SFPE (Society of Fire Protection Engineers: 防火技術者協会) の主催による標記会合がスウェーデン・ルンド市のルンド大学にて開催された。ルンドにて本会議が開催されるのは2000年の第3回会議以来2回目である。参加者は30カ国・地域より307名であり、うち日本からは10名が参加した。筆者らも参加する機会を得たので、会議の概要を報告する。

会議日程は前回までと同様、1日目が基

準関係(19題)、2日目が設計法関連(19題)、3日目が性能設計ケーススタディ(7題)である。

ケーススタディには、スウェーデン、日本、アメリカ、香港、オーストラリア、フランス、ニュージーランドの7カ国が参加した。

日本のケーススタディ

提示された基本計画では階段室に防火区画が施されていなかったため、階段室を防火区画するとともに、出口を増設し二方向避難を確保する計画とした。煙制御設備として、スモークタワーを設置し、維持管理の簡略化を図った。

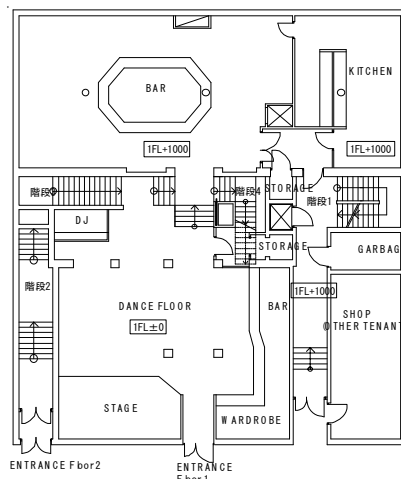


図1 提示された基本図面(1階)

設計火源は、避難安全検証法に準拠し、難燃材あるいは木材の内装材と積載可燃物の火災成長率から発熱速度を算出した。出火位置はダンスフロアあるいはバーを想定し、二層ゾーンモデル(BRI2002)による煙性状と Multi-Agent モデル(SimTread)による避難行動の予測結果から最大収容人数を内装材に応じて901人(難燃材)と832人(木材)とした。

本年度では、次世代に向けた性能基準に関する講演が多く見られた。また、火災リスク評価、適切な設計火源の入力、シミュレーションツールの進歩など、起こりうる火災に対して様々な観点から評価することができるようになった。今後はこれらのツールを各国のエンジニアがうまく使いこなしていくことが重要であると筆者らは考える。

2年後は韓国・ソウルで開催される。アジア諸国でも近年、火災安全工学分野が進歩してきており、アジア諸国からの多くの

講演を期待している。

最後に、本稿はケーススタディメンバーである福井潔氏、土屋伸一氏、竹市尚広氏、仁井大策氏(写真1)からいただいた抄録を筆者らが取りまとめたものである。ここに深謝の意を表する。

本記事は、日本火災学会の会誌「火災」Vol.60, No.4 2010.8 通巻307号の北堀氏・城氏の記事を抜粋させていただきました。全文は火災誌を参照願います。ケーススタディの概要は、来年1月28日予定の総会開催後に引き続き報告のシンポジウムを予定しています。



写真1 ケーススタディメンバー

第2回防火研修会開催概要報告

当会「老人福祉施設・学校教育施設の避難安全に関する研究会」では、昨年9月の高齢者施設の防火管理者などを対象とした第1回「高齢者施設の火災安全確保について考える」防火研修会に引き続き、本年度も第2回の研修会を以下の要領で開催しました。

当研究会では、防火技術者として高齢者施設などの火災安全性を確保に貢献するために、当該施設の火災安全性の啓発を意図したチェックシートなどを作成してきました。先般、このチェックシートの有用性を確かめるため、社会福祉法人東京都社会福祉協議会のご協力を得て、同協議会会員の463施設にアンケートを配布し、今後の活動へ役立てることを意図しました。

関沢、小林両東京理科大学教授から、特に前回参加の施設管理者などの要望が多かった施設管理者の立場に必要な火災現象に関する理解を高めるための情報、火災が発生した時の職員の対応ならびに作戦について被害を最小限にする対応方法などフラッシュオーバー現象など高熱と高濃度の煙など火災の本当の恐ろしさ、また、施設の建築防火・消防設備機器の役割、火災に備える実践的な作戦の立て方などの参加者が常日頃不安に思っていることについて映像情報などを用いて、よりわかりやすく紹介していただきました。



また121箇所の特別養護施設から回収したアンケート調査結果の概要および実態に即した図上消防訓練の方法(FIG:大西研究室で開発; 訓練対象の職員が施設の図面と自分の役割を定めて、自分の代わりにチェスの駒を用いてさまざまなシナリオを再現させて、対応の出来具合について自己評価する方法)、さらに実際の消防・避難訓練結果とその反省を踏まえた課題など具体的な有効な報告も神戸大西准教授の代理で大学院学生の川畑さんがわかりやすく説明していただきました。

パネルディスカッションでも社会福祉施設で防火管理を実践されている管理者の皆さんの現場の声やそれに対する講師や参加者からの意見など真剣な議論がなされました。

参加者が多数であったため、第1会場だけでは入りきらず、第2会場も使用しました。このため、第2会場の聴衆はモニターを通して聴講してもらったため、臨場感の不足など今後の課題が残った。

さらなる活動に役立てるため今回の研修会に参加者した施設で安全の実務に携わっている人々のアンケートも実施した。

詳細は別途報告書をホームページに掲載予定です。

会場: 東京理科大学森戸記念館
第1フォーラム、第2フォーラム
日時: 平成22年10月18日(月)
13:30~16:45
主催: 日本防火技術者協会
共催: 東京理科大学グローバルCOE
後援: 社会福祉法人東京都社会福祉協議会
参加者: 施設関係者 126名
日本防火技術者関係者 37名
合計 163名

■講演: 司会: 日本防火技術者協会
副理事長 佐藤博臣
開会挨拶 日本防火技術者協会
理事長 笠原 勲
「火災の危険を正しく知って、正しく恐れる」 東京理科大学 教授 関澤 愛
「もし火災が発生したら ~福祉施設における職員の対応指針~」

東京理科大学 教授 小林恭一
「社会福祉施設における防火への取り組み実態」

- ①東京都の高齢者福祉施設へのアンケート調査 神戸大学 川畑達哉
- ②FICを用いた障害者ケアホームでの避難訓練 神戸大学 川畑達哉

■意見交換会

パネルディスカッション

司会 日本防火技術者協会

理事 富松太基

パネリスト 関澤 愛
小林恭一
川畑達哉

会場は1会場では入りきらず第2会場ではモニターを通して聴講された。

フラッシュオーバー現象など高熱と高濃度の煙など火災の本当の恐ろしさ、施設の建築防火・消防設備機器の役割、火災に備える実践的な作戦の立て方、特別養護施設に対するアンケート調査結果の概要、実態に即した図上消防訓練と実際の消防・避難訓練とその考慮すべき問題点など浮き彫りになり、パネルディスカッションでも社会福祉施設で防火管理を実践されている管理者の皆さんの現場の声やそれに対する講師や参加者からの意見など真剣な議論がなされた。

木材会館見学会の開催結果

JAFPE 主催で木材会館の見学会を7月8日に開催しました。

この建物は、木材の間屋組合の建物というところであって現代の建物にいかにして木材を活用するかをテーマに設計されています。防火的にも性能設計を使って内装、外装、最上階架構に木を取り入れております。

先日公共建物への木の使用推進の法律も成立しましたので今後木材の建築への使用が加速すると思われますのでその意味でも注目されている建物です。

当日は日建設計の設計担当者から詳細な説明があり有意義な見学会となりました。

参加者: 30名
建物名: 木材会館
設計: 日建設計
場所: 新木場駅前

Annual meeting の概要

(田中先生、基調講演)

2010年の本部総会と付帯行事がニューヨークで行われました。10/3は支部代表者会議、10/4~5には総会と技術発表会、5~8に職能開発セミナーがあり、状況を呈しておりました。

技術報告会においては、日本人初のフェローとなられた田中孝義先生(京都大学防災研究所)が、Simple Fire Models That Can Be Used Conveniently in Fire Safety Design Process (火災安全設計で便利に使える簡易モデル)と題して基調講演を行なわれました。コンピューターモデル一辺倒の時代にあって、手を動かしながら考えることの重要性を強調する印象深い講演でした。

他の主な講演では、環境負荷への対応、火災鑑定におけるエンジニアの役割、火災事故における責任分担、ルンド会議におけ

る各国ケーススタディの比較研究など、研究発表会とはひと味違う切り口での発表があり、技術を背負う自負が感じられました。



田中孝義先生の基調講演

SFPE ハンドブック

第5版の編集開始

SFPE handbook of Fire Protection Engineering は言うまでもなく防火技術者のバイブルです。現在は第4版が刊行されていますが、5年に一度の定期的改版のための準備会が、ニューオリンズの総会時に開催され、作業を開始しました。

今回の改訂の1つの目的は、火災現象そのものだけでなく、避難に関わる人間挙動や構造フレームや区画の挙動といったパッシブシステムの章を追加し、protectionだけでなく、total safetyへと拡張するものであります。日本は、火災安全設計技術が進んだ国と見られており、今回の改訂では、日本の設計指針等からのインプットが求められています。

SFPE アジア地域の連携

10月に開催されたアジアにおけるSFPE支部活動の連携についての概要報告

参加した国と地域の代表は、日本支部の他、台湾支部、香港支部、マレーシア支部、インドネシア支部、韓国支部、オーストラリア、SFPE本部からモーガン・ハーレイ氏の参加を得て開催された。日本支部からは笠原理事長、関澤理事、福井理事が参加した。会議ではSFPE Asia-Oceania Chaptersの活動に関する「Items of Action Plan」が承認され、各国代表が署名した。また同会議のCoordination CommitteeのChairmanに関澤理事が選出された。次回は2011年4月に韓国にて開催される。今後、この組織を母体として当地域の国際的な活動が活発化するだろう。

同会議に先立ち、シンポジウムが開催された。



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

「Exchange Meeting for SFPE Asia-Oceania Chapters」

そこでは以下の講演が行われた。

「Fire Risk Analysis of Cultural Heritages and the Surrounding Areas」: Prof. Ai Sekizawa

「Preserved Historic District in Taiwan-Take "Di-Hua Street, Taipei" for Example」: Prof. Yu-Cahng Lin

「The Fire Safety Strategy and Approach on Cultural Heritages and Historical Building In Hong Kong」: Prof. W. K. Chow

「The Fire Safety Strategy and Approach on Cultural Heritages and Historical Building In Korea」: Dr. Woon-Hyung Kim

「The Fire Safety Strategy and Approach on Cultural Heritages and Historical Building In Taiwan」: Prof. Shen-Wen Chien



参加者の写真

イベント情報

Studying on-line with **SFPE eLearning Courses**. The Society of Fire Protection Engineers now offers distance learning programs in a web-based format.

Principles of Fire Protection Engineering: January 24-27, 2010, this four-day seminar is being sponsored by the SFPE St. Lawrence Chapter at the Sandman Hotel in Quebec, Canada.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design: March 10-11, 2011, this two-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Weeks in Baltimore, MD.

How to Study for the FPE/P.E. Exam: March 14-16, 2011, this two-day seminar is being sponsored and held in conjunction with the Greater Atlanta Chapter's 7th Annual Fire Safety Conference in Duluth, GA. For more information contact conference@sfpe-atlanta.org.

Fire Protection Research Foundation Conference (SUPDET 2011): March 22-25, 2011, Mark your calendar for this event to be held in Orlando, FL.

SFPE Call for Papers: SFPE is now accepting abstracts for the educational presentations for its two-day Engineering Technology Conference. Deadline for submission is March 31, 2011. Click here for Guidelines for submission. For the most up-to-date information visit the conference website at <http://www.sfpe.org/Education/2011SFPEAnnualMeeting.aspx>.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design: March 31 - April 1, 2011, this two-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Weeks in Oak Brook, IL.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design: October 13-14, 2011, this two-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Weeks in Hasbrouck Heights, NJ.

2011 Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition: October 23-28, 2011 - Mark your calendar for the 2011 Annual Meeting being held at the Portland Marriott Downtown Waterfront in Portland, OR.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design: November 17-18, 2011, this two-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Week in Quincy, MA.

SFPE Advanced Fire Alarm Systems Design: December 8-9, 2011, this two-day seminar is being held at one of NFPA's Professional Development Week in Garden Grove, CA.

2012 Annual Meeting: Professional Development Conference and Exposition: October 14-19, 2012 - Mark your calendar for the 2012 Annual Meeting being held at the Hyatt Savannah in Savannah, GA.

Journal of Fire Protection Engineering Vol.20 No.2 MAY 2010

Analysis of Prediction Capability of FDS for Response of Thermal Detectors
(熱感知器の応答のためのFDSの予測能力の分析)

M. J. Hurley and A. Munigua.

Thermally Induced Stresses in Glazing Systems (ガラス部材における熱応力)

P.Tofilo and M.Delochatsios

Numerical Simulation Study of Smoke Exhaust Efficiency in an Atrium
(アトリウムにおける排煙効率の数値シミュレーション研究)

D.Zhou, J. Wang and Y. He

Journal of Fire Protection Engineering Vol.20 No.3 Aug. 2010

CDF Investigation of Large Scale Pallet Stack Fires in Tunnels Protected by Water Mist Systems

(ウォーターミストシステムによって保護されたトンネルの大規模積み上げパレット火災のCDF研究)

J.Trilles and J. R. Mawhinney



参加者の写真

駅なか探検隊開催結果概要報告

当会では今年度の事業として、駅なか空間の避難安全のための実地調査をおこなう計画を立て、11月12日に第1回を開催しました。

NPOとして、一般の人を対象に、駅なかの避難安全を目的とした啓発活動を行うことも目的の一つでした。そこで、まず、防火技術者の皆様と専門の目でみて、候補駅として新橋駅、品川駅の駅そと・駅なか空間の防災設備、サイン、空間認知などを実施しました。

日時 2010年11月12日(金)

集合 15:00

見学 新橋駅(駅そと、駅なか)

JRにて移動

品川駅(駅なか)

解散 16:30

参加者: 会員6名



Linking Safety Factor and Failure

Probability for Fire Safety Engineering

(安全率と故障確率の火災安全工学のための融合)

Y. He

Fire Protection Engineering

No.46 2nd Quarter 2010

Fire Protection Engineering and Sustainable Design — Why

performance-based design will become increasingly important in the future.
(防火技術者と持続可能設計 — なぜ、性能設計は将来ますます重要になるだろうか)

By: Simon Dent, Arup

Electrical Fires: Research Needed to Improve Safety — Many aspects of electrical fires are still not well enough understood.

(電気火災: 安全の改善に必要な研究—電気火災の多くの観点はまだ十分には理解されていない)

By: Dr. Vytenis Babrauskas, FSFPE, Fire Science and Technology Inc.

Prescriptive to Performance-Based Design in Green Buildings — How Green Design impacts the design and installation of fire protection systems.

(緑の建築における仕様書的设计から性能設計へ—防災設備の設計および施工に緑的设计がいかなる影響を与えるか)

By: Craig E. Hofmeister, P.E.E

Green Construction and Fire Protection — Will LEED eventually recognize the environmental benefits of fire sprinkler?

(緑の建築と防火 LEED は火災スプリンクラーの環境負荷低減効果を考慮するか?)

by Dominick G. Kasmauskas, National Fire Sprinkler Association

Design of Fire Alarm and Signaling Systems for a Long Life — Consideration for ensuring the longevity of a fire detection, alarm or signaling system.

(長寿命の火災報知機と信号システムの設計 — 火災感知、警報または信号システムの寿命を確実にするための配慮)

By: NEMA

Fire Protection Engineering

No.47 3rd Quarter 2010

Building in Bushfire-Prone Areas After Black Saturday — Requirements and limitations of the new Australian Standard on "Construction of Buildings in Bushfire-Prone Areas."

(森林火災危険地域における暗黒の土曜日以降の建築—「森林火災危険地域での建物建設における新しいオーストラリア規格の要件と制限」)

By: Simon Carroll, Australian Bushfire Assessment Consultants.

Wildfire: Past, Present and Future — Why traditional solutions to combat wildfires are losing effectiveness and what can be done.

(林野火災: 過去、現在、未来 — 伝統的な対策が林野火災との戦いに有効で無くなっているのは何故か、そして何ができるか)

By: RonnyJ. Coleman and Kate Dargan, retired California State Fire Marshals.

Building Code Seismic Requirements for Sprinkler Systems and Special Interface Requirements with Ceiling Systems — The evolution of building code seismic requirements over the last 20 years.

(建築基準におけるスプリンクラー件と天井との取り合いに関する特別な要件 — 最近20年間の建築基準における耐震要件の変遷) By: Robert E. Bechman, P.E.

Potential Pitfalls with Professional Liability Insurance — The two most important things an engineer can do to preserve his or her coverage.

(専門職業責任保険が持つ潜在的な落とし穴 — 技術者の2つの最も重要なことは、自分の業務範囲を守ることです)

by Mark Blanckenship, Willis HRH

Fire Protection Engineering

No.48 4th Quarter 2010

Commissioning: A New Buzzword? —

Why it pays to take a "womb-to-tomb" view of commissioning

(コミッション: 新しい専門用語? — コミッションに関する「子宮から墓」の見方)

By: David R. Hague, P.E., Liberty Mutual Property Risk Engineering

Commissioning: A Federal Agency's Perspective — How the U. S. General Services Administration has embraced the commissioning process

(コミッショニング: 連邦政府関係機関の見解 — 米国総務省はどのようにコミッショニングの過程を受け入れたか)

By: Dave Fribley, U. S. General Services Administration

Lessons Learned From Unsatisfactory Sprinkler Performance — Oftentimes

performance is affected by factors not linked to the initial design or installation.
(不十分なスプリンクラー性能からの教訓 —しばしば、性能は当初の設計・施工で考えていなかった要素に影響される)

By: R. Thomas Long, Jr., P. E., Neil P. Wu, P. E. and Andrew F. Blum, Exponent Failure Analysis Associates.

Marriott's Inspection Program - How Marriott runs its fire protection.

(マリオット査察プログラム — マリオットはどのように防火安全をを運用するか)

by Stacy Welch, P. E., Marriott International, Inc.

本部の担当者リスト情報

Contact Us:

Elle T. Andrascsek: Membership Manager and 2011 Annual Meeting Technology Expo Coordinator - Manages all membership matters, including joining SFPE and upgrading membership grade, chapter relations, and Corporate 100. Responsible for exhibits and sponsorships at the October 25, 2011 SFPE Exposition in Portland, OR. Email: eandrascsek@sfpe.org Phone: (301) 915-9721 Cell: (301) 661-5983

Allan S. Freedman: Executive Director - Email: afreedman@sfpe.org Phone: (301) 915-9723 Cell: (301) 706-1107

Julie A. Gordon, CMP: Education Program Manager - Oversees and manages SFPE's continuing education program including: education development, distance learning, and special events.

Email: jgordon@sfpe.org Phone: (301) 915-9724 Cell: (301) 661-5998



日本防火技術者協会ニュース

特定非営利活動法人日本防火技術者協会

Morgan J. Hurley, P.E., FSFPE: Technical Director - Oversees technical task groups, standards development, and representation of SFPE on outside committees, and Technical Editor for Fire Protection Engineering Magazine. Email: mhurley@sfpe.org Phone: (301) 915-9722 Cell: (301) 661-5987

Chris Jelenewicz, P.E.: Engineering Program Manager - Oversees the fire protection engineering professional engineering (P.E.) exam, recruitment into the fire protection engineering profession, and SFPE's public recognition program. Email: chris@sfpe.org Phone: (301) 915-9728 Cell: (301) 661-5986

Sean Kelleher: Membership Coordinator - Oversees membership renewal and member profile updates. Email: skelleher@sfpe.org Phone: (301) 718-2910 ext. 107

Diane Sylvester: Office Manager - Serves as the primary point of contact for general inquiries, manages the SFPE publication and merchandise sales and fulfillment, oversees all office operations and billing matters. Email: dsylvester@sfpe.org Phone: (301) 915-9726 Cell: (301) 661-5982

SFPE 本部からのお知らせ

技術改善計画の一環で、SFPE の国際オフィスはオンライン決済(www.sfpe.org)を2011年1月10日まで一時的に中断されます。これは会員資格更新と書籍注文のためのオンライン決済に影響します。SFPE 本部に、ファックスかメールによって会員資格を更新、または、本を購入できます。

新たに入会された個人会員 4 名の方々を記載しました。(敬称略)

【会員】

森田 武〔清水建設株式会社〕
宇山幸逸〔日本消防コンサルティング(株)〕
宇山幸住〔日本消防コンサルティング(株)〕
小林恭一〔東京理科大学〕
(合計 4 名)

10月未会員数	個人	128
	学生	8
	賛助	5

なお、会員の所属の移動等の情報も今後、お知らせする予定です。

理事会等の開催結果

6月以降、理事会を以下の日に実施しました。

8月27日(火)、11月2日(火)
12月8日(水)

会員向けシンポジウム等の 開催案内の通知済み一覧表

日本防火技術者協会では、会員に対して e-mail にて各種シンポジウム等の開催などの情報を配信しております。6月からの配信分の概要を掲載いたしました。

6月30日通知

「避難シミュレーションモデルの現状とこれから」に関するシンポジウム
主催：日本火災学会避難行動専門委員会
主題：「避難シミュレーションモデルの現状とこれから」—最新事例の紹介とベンチマーク

日時：2010年7月16日(金)
13:30 ~ 17:00

会場：東京理科大学 森戸記念館

7月6日通知

日本防火技術者協会会員各位

平成23年度 東京理科大学大学院 国際火災科学研究科火災科学専攻(修士課程)の出願についてお知らせします。

国際火災科学研究科 修士課程では、火災科学の基本から応用までを対象とした教育課程を編成し、学部から進学する一般学生と共に、防災や火災安全に関係する分野の社会人学生を受け入れ、防火技術者やアジアで活躍する火災安全技術者の育成を推進しています。

今年度は、出願時期が過ぎておりますが、毎年募集されるものと思われます。

社会人向けの案内など東京理科大学のホームページ等参照願います。

7月22日通知

第8回消防防災科学技術寄付講座公開セミナー

主題：「都市空間での安全の道標」
—誘導灯・誘導標識の技術基準を巡る研究を巡って—

主催：東京大学大学院工学系研究科
都市工学専攻

消防防災科学技術寄付講座

会場：東京大学 山上会館大会議室

日時：平成22年8月26(木)

● 講演内容

全体司会：廣井悠(東京大学)

挨拶および主題解説山田常圭(東京大学)

(1)「避難誘導灯の誕生とその技術基準に係わる研究」神 忠久(早稲田大学)

(2)「誘導灯の活性化・システム化に係わる技術開発」

山田憲幸(パナソニック電工)

(3)「消防法令に規定された蓄光式誘導標識について」鳥枝浩彰(堺市消防局)

● 討 論

(4)パネルディスカッション

司会 山田常圭

パネリスト 神忠久、山田憲幸、鳥枝浩彰

8月4日通知

日韓火災学会共同セッション「超高層建築、大規模建築における防災の今日的課題」

および国際防災シンポジウム開催案内

「消防防災、最強の都市に向けての戦略とソリューション」

開催日：10月6日、7日

主催：韓国火災消防学会、ソウル市、サムスン保険です。

開催場所：ソウル市

日韓火災学会共同セミナーがこのシンポジウムの一部として開催されました。

10月26日通知

住宅火災安全シンポジウム開催のお知らせ

開催日：11月25日(木曜日)

時 間：13:30~17:00

場 所：森戸記念館 第1フォーラム

参加費 無料

主 催：東京理科大学グローバル COE プログラム

■ パネリスト：

関澤 愛(東京理科大学)

佐藤 博臣(ビューパブリシティ(株))

中野 孝雄(東京消防庁防災部生活安全課)

住宅防火研究会メンバー(主査：菅原進一)

事務所移転のお知らせ

当会の事務所を下記に移転しました。

〒164-0001

中野区中野 5-66-4

中野 SHK ビル 4F(アフリナ)

会員の皆様へご意見募集

当協会へのご意見・ご要望を常時お受けいたしております。ご意見・ご要望を脚注の問い合わせ先にお知らせ願います。

△